



平成27年3月6日

各 位

上場会社名 株式会社 ナイガイ
 代表者 取締役社長 泉 潔
 (コード番号 8013)
 問合せ先責任者 取締役管理部門担当 市原 聡
 (TEL 03-5822-3810)

業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月14日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、平成27年度1月期における営業外収益(為替差益)の計上についてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	50	50	20	0.24
今回修正予想(B)	17,500	△165	110	65	0.79
増減額(B-A)	△500	△215	60	45	
増減率(%)	△2.8	△430.0	120.0	225.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年1月期)	17,526	△101	98	80	0.98

平成27年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,950	50	40	0.49
今回修正予想(B)	13,000	△10	△20	△0.24
増減額(B-A)	△950	△60	△60	
増減率(%)	△6.8	△120.0	△150.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年1月期)	13,459	72	43	0.53

修正の理由

当連結会計年度の業績見通しにつきましては、個別業績にかかる売上で、レッグウェア事業の返品増、欧米向け輸出品の減少、グループ内子会社向け販売の縮小及び子会社の量販店向けカジュアルシャツ卸売り販売の不振が響き、レッグウェア及びアンダーウェアの新ブランド投入寄与、インターネット通販の増収があったものの、概ね前年並みにとどまり、当初予測を下回る見込みとなりました。

営業損失は、売上減少に加え、円安による海外調達原価の悪化、返品調整引当の積み増し、さらに、第4四半期での急激な円安により、海外子会社との取引高消去における為替換算差額が膨らんだことが大きく影響し、公表数値を下回る見込みとなりました。

一方、経常利益は、主に為替予約の時価評価益が加わり、公表数値を上回る見込みです。

(注)上記予想値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

● 営業外収益(為替差益)の計上について

平成27年1月期において、為替相場の変動により、為替差益222百万円を営業外収益に計上する見通しです。第3四半期累計期間(平成26年2月1日～平成26年10月31日)において101百万円計上していましたが、期末にかけて更に円安が進み、第4四半期(平成26年11月1日～平成27年1月31日)において、為替差益121百万円を追加計上する見通しとなりました。

【参考】為替差益の前期比較

平成27年1月期通期：222百万円 平成26年1月期通期：183百万円

以 上